

(23) 地域総合 2012年(平成24年)7月10日 火曜日

琴桜の生涯しのぶ

倉吉に常設記念館オープン

倉吉市出身の第53代横綱・琴桜を顕彰する常設展示場「琴桜記念館」が8日、倉吉市魚町にオープンした。横

綱土俵入りで使った三つぞろいの化粧まわしや優勝トロフィーのレプリカ、写真パネルなどを一堂に展示。「猛牛」の愛称で親しまれた琴桜の往時を来場者たちがしのび、関係者は観光の拠点施設に発展することを願った。

琴桜(本名・鎌谷紀雄氏)は現役時代、一気に攻める押し相撲で活躍し、横綱に上り詰めた。引退後は佐渡ヶ嶽親方として多くの関取を育て、2003年に同市の名誉市民。07年8月に66歳で亡くなった。

市は昨年10月下旬からことし3月末までの期間限定で市指定文化財の倉吉淀屋(同市東岩倉町)に展示スペースを設け、琴桜ゆかりの品々を展示していた。この資源を生かそうと、事業費200万円を掛けて常設展示場を整備してきた。

記念館は、琴桜の銅像がある白壁土蔵群観光地。記念館は、琴桜の銅像がある白壁土蔵群観光地。記念館は、琴桜の銅像がある白壁土蔵群観光地。

市は昨年10月下旬からことし3月末までの期間限定で市指定文化財の倉吉淀屋(同市東岩倉町)に展示スペースを設け、琴桜ゆかりの品々を展示していた。この資源を生かそうと、事業費200万円を掛けて常設展示場を整備してきた。

開館前の記念式典では石田耕太郎市長や県佐渡ヶ嶽部屋後援会の坂根国之副会長らが同市の観光の拠点施設に発展することを願った。実弟の鎌谷孝義さん(69)は「立派な施設ができた。多くの人に来てほしい」と開館を喜んでいった。



記念館の入り口に設置され、来場者を迎え入れる琴桜像＝8日、倉吉市魚町の琴桜記念館

光駐車場近くの木造2階建ての町屋を改装して開館した。化粧まわしや横綱推挙状の写しなど佐渡ヶ嶽部屋ゆかりの人から借り受けた貴重な品約60点を展示。琴桜の軌跡を追った映像の上映や、横綱昇進後の同市でのパレード写真なども並んでいる。